

市政に関する意識調査結果活用状況

(令和元年6月末時点)

テーマ (担当課)	集計結果活用状況	
	これまでの活用状況	今後の活用予定
テーマ: 住みやすさ (毎年度調査テーマ) 担当課: 市長室広聴課	住みやすさの調査結果についてはFukuoka Factsを始めとするホームページや主要施策概要パンフレットなどの広報媒体におけるプロモーションに活用している。 パンフレット「ふくおかボイス」、調査結果報告書、新聞などの各種媒体を通じて、結果の公表と周知を行っている。 都市環境等に関する満足度のうち、「新鮮でおいしい食べ物の豊富さ」「就業機会の多さ」「福祉の充実」「犯罪の少なさ」「市民のマナー」については、第9次福岡市基本計画において施策の達成状況を把握していくための「成果指標」として使用している。	住みやすさや都市環境等に関する満足度は、現在の福岡市政の運営状況を評価する基準のひとつであるため、引き続き調査を実施し、年次比較などを行いながら、現状把握を行っていく。
テーマ: 防災 (平成29年度調査テーマ) 担当課: 市民局防災・危機管理課	本市災害対策の基本となる「福岡市地域防災計画」の改訂を行うための基礎資料とするため、意識調査を行った。 調査の結果、災害に備えた備蓄をしている市民の割合が約32%と低いことから、平成29年度から「備蓄促進ウィーク」(9/1～9/7)を定め、家庭や企業内での備蓄をはじめ、市民に防災意識を高めてもらうための取り組みを開始した。 また、防災・減災にかかる出前講座においても、市民の災害に対する意識の現状として、調査結果を活用している。	今後も、本市の防災行政施策全般において検討を行う上での基礎資料として活用する。
テーマ: 福岡の歴史や文化財 (平成29年度調査テーマ) 担当課: 経済観光文化局文化財活用課	調査結果をふまえ、行政と市民が一体となって大切な文化財を次世代に守り伝えていくための基本的な考え方や取組についての検討を行い、平成31年3月に、「福岡市の文化財の保存活用に関する基本方針～福岡市歴史文化基本構想～」を策定した。その資料編として、「市政に関する意識調査」の結果を掲載している。	今後も、本市の文化財行政施策全般において検討を行う上での基礎の基本方針として活用していく。